

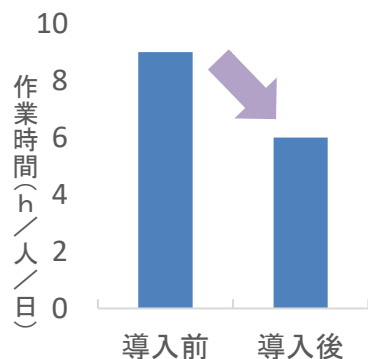
経営体の概要

- ・所在地：高知県香南市
- ・経営体名：有限会社 北らいつ
- ・栽培作物・作付面積：水稻・50ha + 作業受託200戸
- ・従業員数：9名（令和6年5月現在）

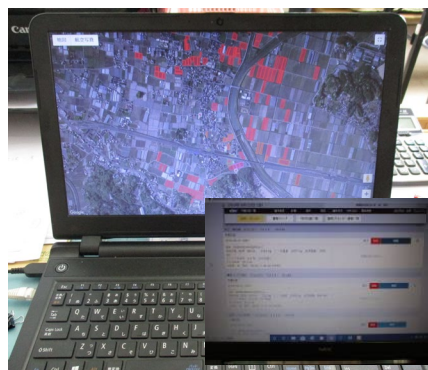
導入技術

- ・クボタアグリサポートシステムKSAS
- ・KSAS対応農業機械
トラクタ（1台）、田植機（2台）、コンバイン（3台）
（株式会社クボタ 製）

KSAS対応農業機械とは…無線通信機能を備え、KSAS上で作業記録等を一元管理できる農業機械



KSASの導入による
水稻作業時間の变化



電子地図上のほ場位置と
作業記録確認画面(右下)

導入経緯

- 経営規模の拡大や作業受託件数の増加により、ほ場面積が拡大し、ほ場管理の効率化が課題であった。
- そこで、ほ場管理やリアルタイムに作業の進捗管理をするため、平成26年度にクラウドを活用したKSAS及び対応農業機械を導入した。

取組の特徴・効果

- 電子地図にはほ場位置及び所有者名等を登録するとともに、全従業員（9名）がスマホや専用端末でシステムを利用することで、ほ場ごとの作業計画や作業記録を全員で共有。
- これにより、ほ場位置の確認や進捗確認にかかる移動が不要となり、作業効率が向上。
- 他の作業者の進捗状況が現場でリアルタイムに把握できるため、作業もれが減少。
- 前年の収量データを活用し、ほ場毎に施肥量を調節することで、適正施肥につながる。
- 今後、高付加価値化に向けた食味&収量センサ機能付コンバインの導入、直進キープ機能付き田植え機の導入、メッシュマップによる細かな肥培管理に取り組む予定。

【導入効果 平成25年度→令和6年度】

- ・労働時間の削減（9時間/人/日→6時間/人/日）
- ・経営面積の拡大（32ha→50ha）